

**令和3(2021)年度
全国学力・学習状況調査
結果**



**下野市教育研究所
令和3年9月**

「令和3(2021)年度 全国学力・学習状況調査」結果

令和3年9月
下野市教育委員会

調査について

1 調査の概要（「全国学力・学習状況調査」実施要項より一部抜粋）

（1）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）調査実施日

令和3(2021)年5月27日（木）

（3）調査対象

- ①小学校 第6学年
- ②中学校 第3学年

（4）調査事項及び手法

①教科に関する調査

- ・小学校調査：国語、算数
- ・中学校調査：国語、数学

②児童生徒質問紙調査

- ・内 容：学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等
- ・方 法：選択回答式
- ・質問数：小学校69項目、中学校69項目

③学校に対する調査

学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問紙調査を実施する。

（5）その他

本調査の結果は、学力の特定の一部であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童生徒の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意する。

2 本市の参加状況 ※参加人数は最も多かった教科のもの

調査対象内訳	下野市の状況		全国（公立）
小学校第6学年	小学校 11校	517人	994,101人
中学校第3学年	中学校 4校	486人	903,253人

本市の結果について

1 概要

【教科に関する調査の結果の下野市と全国・県平均との比較】

- ◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)、○ 上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
 - 同じ(±1ポイント未満)
 ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)、▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

小学校第6学年			中学校第3学年		
教科	県との比較	全国との比較	教科	県との比較	全国との比較
国語	○	○	国語	○	○
算数	○	○	数学	◎	○

小学校第6学年、中学校第3学年共に、2教科とも市の平均正答率が全国・県の平均正答率を上回る結果となった。

2 結果の推移（全国平均正答率との比較）

【直近10年間の結果】

- ◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)、○ 上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
 - 同じ(±1ポイント未満)
 ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)、▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R 2	R 3
小学校第6学年	国語A	一斉実施なし	○	▽	▽	◎	○	○	○	一斉実施なし	○
	国語B		○	○	◎	○	○				
	算数A		○	-	◎	◎	○	○	○		○
	算数B		○	○	○	○	○	○			
	理科				○			○			
中学校第3学年	国語A		○	○	○	○	-	○	○		○
	国語B		◎	○	○	◎	○	○			
	数学A		○	○	○	○	○	-	○		○
	数学B		○	◎	◎	○	○	○			
	理科				○			○			
	英語							○			

※平成31年度よりA問題とB問題の区分なし

各教科の結果について



1 国語

- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上） ○ 上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
 — 同程度（±1ポイント未満）

(1) 小学校第6学年

① 学習指導要領の内容別正答率

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や使い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
県との比較	○	○	◎	◎
全国との比較	○	○	◎	○

② 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	◎
全国との比較	○	○

問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	◎
全国との比較	○	○	◎

(2) 中学校第3学年

① 学習指導要領の領域・事項における正答率

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県との比較	○	○	◎	○
全国との比較	○	◎	◎	○

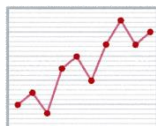
② 観点別正答率

	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
県との比較	◎	○	○	◎	○
全国との比較	◎	○	◎	◎	○

③ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	◎
全国との比較	○	○	◎

2 算数・数学



- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上） ○ 上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）
 — 同程度（±1ポイント未満）

(1) 小学校第6学年

① 学習指導要領の領域別正答率

	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
県との比較	◎	○	○	○	○
全国との比較	○	○	○	○	○

② 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	○
全国との比較	○	○

③ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	◎
全国との比較	○	○	○

(2) 中学校第3学年

① 学習指導要領の領域別正答率

	数と式	図形	関数	資料の活用
県との比較	◎	◎	◎	○
全国との比較	◎	◎	◎	○

② 観点別正答率

	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
県との比較	◎	○	○
全国との比較	◎	○	○

③ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	◎
全国との比較	○	○	◎

児童生徒質問紙調査の結果について

1 概要

質問別肯定率が算出できる項目や、読書、学習時間等における項目での「全くない」以外の回答率において県平均との比較を行った（全69項目中62項目）。

小学校第6学年では62項目中59項目が同程度または上回る結果となった。中学校第3学年においては、62項目中53項目が同程度または上回る結果となった。

2 各学年の結果

(1) 小学校第6学年

【特に良好な結果となった項目】

新聞を読んでいますか ※「ほとんど、または、全く読まない」以外の回答の割合の比較
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
今住んでいる地域の行事に参加していますか
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
学校に行くのは楽しいと思いますか

【課題が見られた項目】

算数の勉強は好きですか
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

(2) 中学校第3学年

【特に良好な結果となった項目】

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
新聞を読んでいますか ※「ほとんど、または、全く読まない」以外の回答の割合の比較
今住んでいる地域の行事に参加していますか
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

【課題が見られた項目】

国語の授業の内容はよく分かりますか
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）※「全くしない」以外の回答の割合の比較
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか
これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか